

寄贈品コーナー展示

# 平塚周辺の地盤

会期:2017年2月1日(水)  
～2月26日(日)

昨年は、4月の熊本地震や、10月の鳥取県中部地震、11月の福島県沖地震など、マグニチュード6以上の大きな地震が相次ぎました。これらの地震がある度に、博物館には地盤や活断層についての問い合わせが多数寄せられており、地質災害に関する市民の皆様の関心の高さを感じます。このような災害に備えるためには、自身が住む土地の地盤についての正確な知識や最新の知見を自ら知っておくことが重要です。

本展示では平塚周辺の地盤について、その特性や地形との関わり、成り立ちの歴史などを紹介します。また、周辺の活断層や、予想される地震とその被害についても最新の情報をお伝えします。



↑平塚のまちの大部分は、相模川と海が作った平野の上にあります。このような地形の成り立ちは、地盤とも深く関係します(平塚市秘書広報課撮影)。